

令和7年度 岩手医科大学大学院歯学研究科入学試験（後期）小論文

問題

歯科医師の減少に伴う無歯科医地区の増加と歯科医療の地域格差についてどのように考えるか、また、その解決策を臨床、研究、教育の面から私見を述べよ。

出題の意図（案）

本問題は、歯科医師数の減少に伴う無歯科医地区の増加 および 歯科医療の地域格差 という、日本の歯科医療が直面する喫緊の課題について理解し、受験者が多角的な視点から論理的に考察できる力を評価することを目的としています。

特に以下の観点を重視します。

課題認識力：歯科医師の減少と地域格差の背景・現状を的確に把握し、問題意識を持って表現できているか。

論理的思考力：課題に対して整合性のある論理展開で自らの見解を提示できているか。

多面的発想力：臨床・研究・教育という三つの観点から、具体的かつ実現可能性のある解決策を構想できているか。

社会的使命感：歯科医師として、地域医療に貢献しようとする姿勢や専門職としての倫理観が示されているか。

本設問は、単なる知識や情報の暗記を問うのではなく、歯科医師として必要な 社会課題 への関心、課題を多角的に分析する力、論理的に解決を導こうとする姿勢 を測定することを狙いとしています。